
ネタ無しオチ無し

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネタ無しオチ無し

【Nコード】

N4385F

【作者名】

神童サーガ

【あらすじ】

暇な方のみ見てください。ハチャメチャで良く分りません。ギャグのつもりです。

「ズルズルっ」

「おいっ！！」

「ジュルジュル」

女の子が、何かをしている。男の子が話しかけるが無視だ。

「何をしてる？」

「寒い日は焙じ茶ですなあ」

「いや・・・あからさまに、音がおかしいだろ！！」

最後に至っては、ゼリーっぽい。

「ズーズーッ」

「頼むから喋ってくれ・・・話が進まない」

ほぼ擬音で返事をしている。

「なんか・・・美味そうに聞こえねー」

「ギョルニョル」

「なんの音だあー!!」

奇妙な音が、部屋中に響く。

「ぶあつくしよいつ!!」

「急に、クシャミすんな!!しかも、爺さんっぽいぞ」

いくら何でもアリだからといって、終わりのない話は止めてください。

「一応コメディだっけ？恋愛じゃないから、俺はコイツが好きなんで有り得ねー」

「私だって・・・ゴフツ・・・好きじゃない・・・と思いたい・・・ぬひよっ」

「むせるな・・・最後はなんだ？」

せっかく良いこと？を言ってるはずなのに、むせたりしてるせいか、何やらギャグの匂いが・・・。

「によほほ！！こへっ！！」

「笑って苦しむな・・・苛めたくなるだろ？」

ウズウズしだした少年・・・。

「って、名前一度も出てねー！！」

「・・・あえて出さないでどこまでいけるか・・・にゆふつ・・・ガンバロウ」

酷いです。名前が考え付かないのは確かだけど。
どこまで、いけるか頑張ります。

「注意書きしたほうが良いな・・・このストーリーはハチャメチャで終わる見込みが無いって」

「とある人みたいに飢えた人しか見なかったら？」

失礼ですね。飢えてはいませんよ。最近は、何があっても楽しくって仕方ありませんよ。

「ストーリー性がないよな？」

「・・・ひえつく・・・洒落臭い!!」

「急に叫ぶな!!驚くだろ!!」

酔っ払った質の悪いオジサンみたいだ。
お茶で酔うなよ。

「ぶっぶー・・・実はお茶割りだったんです」

「いや・・・純粋なお茶だ。熱があったり暴走すると酔っ払った風になるんだコイツ」

ああ、作者みたいですね・・・ってウチ!?
ちよっと落ち込みました。

「ってことは、まともな小説になるのか？」

「作者は異常だから無理じゃね?・・・むふふ」

至って正常です!!失敬な人達だ。作者をからかって楽しいですか?

「楽しい!!」

「右に同じ・・・って、上に同じ？」

知りません!!もう怒りました!!
ということで、二人にはコスプレして、その服に合うセリフを
言ってもらおう!!

「え・・・」

「じゃめんなしやい!!」

許しません。さて、少女のコスプレは、際どい悪魔のコスプレで
す。布が少ないので恥かしいですよ？

「うっ・・・水着みたい・・・しかも、悪魔の尻尾もあるし・・・
何この槍」

顔を赤らめて、手で身体を押さえる。
さあ、悪魔のセリフを言いなさい。

「うっ・・・あなたの魂を狩っちゃうぞ？」

「死神じゃねーか!!」

「うう・・・じゃあ私と魂の取引しない？」

可愛いです。赤い顔で潤目の悪魔・・・。

じゃあ次・・・隠し玉の少年。

んゝコスプレは、やっぱゴスロリのメイド服だね!!猫耳バージョ
ン。

「じょ・・・冗談だろ!？」

「きやははっ・・・ミニスカだ!!ってか、女装じゃん」

目を逸らした表情もなにとも・・・。

スカートを必死に下げてる姿も可愛い。

「もゝ。やだ・・・」

「なんか、私より可愛い・・・ム力つく」

男の人って、女装すると綺麗になりやすいよね。なんか羨ましい。
少年も、童顔だからこそ可愛くなった。

「ごめん。もう・・・ギブ」

「やっぱメイドのセリフってさぁ・・・ゴニョゴニョ」

どうやら知恵を授けてるようです。

少年は、首が千切れるんじゃないかという位に振ってる。

観念した少年は一度、深呼吸をしてみた。

「ご主人様ぁ・・・お風呂にしますか？ご飯にしますか？・・・
・・・それとも・・・私にしますか？」

全部はダメですか？良いなぁ、顔の良い人は・・・似合ってるのが無性に腹が立つ。

まぁ、面白いものが見れたので許します。

「一番の腹黒は作者だ!!」

「ゴフン・・・確かに・・・悲しいです」

まぁ、全てはウチが楽しめれば良いんです。だって、自己満足小説ですし？

まぁ、やり過ぎたのは反省しますが。

ごめんなさいね、少年少女よ・・・名前も出てこないで、いつか、また暴走したら止めに出来て来てください。

「俺、もう嫌だ・・・コスプレなんて・・・自分が壊れそうだ」

「新たな道へ行くの!？」

「いかねーよ!！」

（後書き）

ちよつと、鬱憤をどうにかしたいから作って自己満足小説です。キ
ャラ達を自由に出来るのは楽しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4385f/>

ネタ無しオチ無し

2011年1月15日21時57分発行